

水防碑（すいぼうひ）



大阪で生まれ育った人々の脳裏から離れることのない昭和時代の大きな災害は、室戸・ジェーン・第二室戸の台風災害です。また、大阪市が大きな災害の防止の取り組みの原点や起点としているのが、この三つの台風でもあります。

平成7年(1995)に阪神淡路大震災を経験し

た我々は、碑面にあるとおり、常に「災害は忘れたころにやってくる」を心に刻んで、水防だけでなく、地震・火山噴火・津波など自然災害に対する備えと対策をしておくことが必要です。我々人間を取り巻く自然の力の偉大さと恐ろしさを常に胸にきざみ、人間生活と自然との調和・共生を図っていくことが大切です。

「水防碑」碑文（原文縦書き）

表…水防碑／災害は忘れたころにやってくる

裏…西区は これまで台風に伴う高潮により幾多の水害に見舞われたが 中でも昭和九年（一九三四）の室戸台風 同二十五年の（一九五〇）のジェーン台風 同三十六年（一九六一）の第二室戸台風により 多くの人命と財産が失われた近年こうした大水害はほとんど見られなくなったが このような平時においてもなお一層人々が水防意識を高め 不断の努力で災害を防除することを念願してここ長堀川跡にこの碑を建設する
昭和五十三年秋 大阪市

参考：三つの台風について

台風名	被害の原因	被害の様子
室戸台風	台風による高潮襲来	築港派出所前高潮の高さ 午前8時14分7尺3寸4分(約220cm) 市内の多くの学校が被害を受けた。死亡者及び行方不明者990名 0.P+5.1
ジェーン台風	地盤沈下・高潮	瞬間最大風速45m 死者及び行方不明者256名 0.P+3.85
第二室戸台風	防潮堤・護岸工事の不足	死者29人 0.P+4.1

0.P-OSAKA PEIL 明治7年の大阪湾の最低潮位 デ・レーケが決めた標準水位

なお、西道頓堀橋の南西橋詰に、この石とほぼ同じ大きさと文面の石が立っています。この碑は、昭和54年(1979)秋に建てられています。